介護保険住宅改修状況等確認書（住宅改修が必要な理由書）　記入例① P1

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号	○○○○○○○○○○	年齢	72歳	生年月日	明治 大正 昭和 ○○年 ○月 ○日	性別	男・(女)
	被保険者氏名	介護　花子	要介護認定（該当に○）	要支援 1・2	要介護	経過的・(1)・2・3・4・5		
	住所	○○○○○○○○○○○○ ○－○－○ （電話番号） ○ ○○－○○○○						
	住宅の所有者	同上 本人との関係（ 夫 ）						

保険者	確認日	平成　年　月　日	評価欄	
	氏名			

作成者	現地確認日	平成○○年 ○月 ○日	作成日	平成○○年 ○月 ○日	着工予定日	平成○○年 ○月 ○日
	所属事業所 事業所名	○○事業所				
	所属事業所 事業所所在地	○○○○○○○○○○○○○ ○－○ 電話番号（○○○－○○○－○○○○）				
	資格	(1). 介護支援専門員（事業所番号○○○○○○○○○○） 2. 介護予防支援事業者担当職員（事業所番号 ） （職種 ）※介護支援専門員の場合は1. に記入 3. 福祉住環境コーディネーター2級以上（証書番号 ） 4. 増改築相談員（登録番号 ） ※3. 4. の者がこの理由書を作成する場合は、本件、住宅改修にあたり連携・調整を行った担当の居宅介護（介護予防）支援事業所名及び介護支援専門員氏名を記入してください。 （居宅介護（介護予防）支援事業所名 ） （介護支援専門員氏名 ）				
	作成者氏名	○○　○○				

住宅改修を行う被保険者の居宅介護（介護予防）支援（ケアプラン作成）利用状況（着工予定日時点）
☑居宅介護（介護予防）支援を受けている　□居宅介護（介護予防）支援を受けていない

※「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」又は「複合型サービス」の利用者については、上記の「居宅介護（介護予防）支援」を「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」又は「複合型サービス」と読み替えます。

〈総合的状況〉

利用者の身体状況	平成○○年○月○日に自宅の廊下で転倒し、右大腿骨頸部を骨折。入院し、人工骨頭置換術後、○月○日に退院。 室内はロフストランドクッラチでゆっくりではあるが歩行可能。ただし、見守りが必要。屋外は車いすを使用。
介護状況	骨折前より長男夫婦と同居しており、排泄は一人で行うことができるが、入浴については主に長男の妻が浴槽の出入りについての介助を行っている。 日中は本人しかいない場合もある。 介護サービスは特に受けていない。
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	現在、長男の妻に入浴の一部について介助を受けているが、生活動作や家事（調理）なども含め自分でできることはしていきたい。 玄関にはすでに手すりと敷台があり、一人で上がりかまちの昇降ができているので、今回は排泄と入浴及び、調理について改善したい。 できればお風呂には毎日入りたい。

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	☑	☑
●特殊寝台	□	□
●床ずれ防止用具	□	□
●体位変換器	□	□
●手すり	□	□
●スロープ	□	□
●歩行器	□	□
●歩行補助つえ	☑	☑
●認知症老人徘徊感知器	□	□
●移動用リフト	□	□
●腰掛便座	□	□
●特殊尿器	□	□
●入浴補助用具	□	☑
●簡易浴槽	□	□
●その他		
・＿＿＿＿	□	□
・＿＿＿＿	□	□
・＿＿＿＿	□	□

介護保険住宅改修状況等確認書（住宅改修が必要な理由書）　記入例① P2

〈P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。〉

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（・・なので・・で困っている）を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（・・することで・・が改善できる）を記入してください		④改修項目（改修箇所）
排泄	☑トイレまでの移動 ☑トイレ出入口の出入（扉の開閉を含む） ☑便器からの立ち座り（移乗を含む） ☐衣服の着脱 ☐排泄時の姿勢保持 ☐後始末 ☐その他　（　　）	・居室からトイレまでの移動はつえ歩行だが歩行バランスが若干不安定で「見守り」が必要。 ・ドアが開き戸なので開閉の際、重心が傾いて不安定である。 ・便座からの立ち上がりの際に、支持する所がないため、不安定である。	☐できなかったことをできるようにする ☑転倒等の防止、安全の確保 ☐動作の容易性の確保 ☑利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐介護者の負担の軽減 ☐その他　（　　）	・バランスを崩さないように、つかまれるところの工夫をする。 ・手すりの高さについては実際に歩行してもらって決める。 ・開け閉めが安全に行えるようにドアを引き戸にする。 ・便座からの立ち上がりを安心してできるように、つかまれるものなどを工夫する。	☑手すりの取り付け （廊下の移動経路） （便器横壁面） （脱衣室の移動経路） （浴室内の移動経路） （　　）
入浴	☑浴室までの移動 ☐衣服の着脱 ☐浴室出入口の出入（扉の開閉を含む） ☑浴室内での移動（立ち座りを含む） ☐洗い場での姿勢保持（洗体・洗髪を含む） ☑浴槽の出入（立ち座りを含む） ☐浴槽内での姿勢保持 ☐その他　（　　）	・居室から浴室までの移動は「排泄」と同じ。 ・浴室内ではつえは使えず、つかまる場所がないため、移動に不安がある。 ・浴槽の５０㎝の縁高を一人でまたぐことができず、介助を必要としている。	☑できなかったことをできるようにする ☑転倒等の防止、安全の確保 ☐動作の容易性の確保 ☐利用者の精神的負担や不安の軽減 ☑介護者の負担の軽減 ☐その他　（　　）	・居室から浴室までの動線は「排泄」と同じ。 ・浴室内での移動の安全を確保するために、移動の経路に手すりを設置。 ・浴槽を浅いものに取替え、バスボードを併用して一人で浴槽への出入りができるようにする（ただし、「見守り」は必要か）。	☑段差の解消 （台所出入口の敷居の撤去） （浴槽を縁高４０㎝のものに取替え） （　　） ☑引き戸等への扉の取替え （トイレの開き戸を引き戸へ取替え） （　　） ☐便器の取替え （　　） （　　） ☐滑り防止等のための床材の変更 （　　） （　　） ☑その他 （（敷居撤去による）台所の建具の継ぎ足し） （　　） （　　）
外出	☐出入口までの屋内移動 ☐上がりかまちの昇降 ☐車いす等、装具の着脱 ☐履物の着脱 ☐出入口の出入（扉の開閉を含む） ☐出入口から敷地外までの屋外移動 ☐その他　（　　）		☐できなかったことをできるようにする ☐転倒等の防止、安全の確保 ☐動作の容易性の確保 ☐利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐介護者の負担の軽減 ☐その他　（　　）		
その他の活動	調理 台所出入口の出入	・台所の出入口に２㎝の敷居があり、つまずきやすい。	☐できなかったことをできるようにする ☑転倒等の防止、安全の確保 ☐動作の容易性の確保 ☐利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐介護者の負担の軽減 ☐その他　（　　）	・２㎝の敷居を撤去することで、出入りの安全を確保する。	